

期 間

2022年 9月16日(金)～19日(月)・祝

主会場

京都産業会館ホール
(京都市下京区函谷鉾町)

オーガナイザー 中川尚史 (京都大学／日本霊長類学会会長)

アウトリーチ・
イベント

ASN-PSJ2022

第76回日本人類学会大会
第38回日本霊長類学会大会連合大会

1

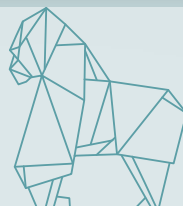
人類学関連学会5学会合同公開シンポジウム

題目:『〇〇なヒトーヒトの呼称も人それぞれ』

対象: 高校生・大学生・ほか (定員 会場参加 250名
オンライン参加 無制限)

日時: 2022年 9月19日(月) 14:00～17:00

会場: 京都産業会館・同時オンライン配信



2

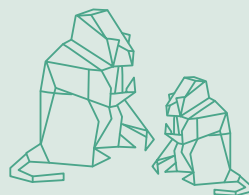
日本人類学会・日本霊長類学会連合大会公開コロキウム

題目: ヒト屋／サル屋と高校生の対面議論

対象: 高校生 (定員60名)

日時: 2022年 9月18日(日) 14:30～16:30

会場: 京都産業会館 (対面のみ)



3

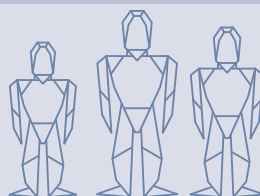
中・高校生ポスター発表

題目: 中・高校生ポスター発表

対象: 中学生、高校生 (定員10題)

日時: 2022年 9月18日(日) 12:00～13:00 (コアタイム)、
14:00～14:15 (表彰式)

会場: 京都産業会館 (対面のみ)



1 2 3 共通

参加費 無料

申込期間 7月1日(金)～8月31日(水)

申し込み方法

イベント ①



、イベント ②



、イベント ③ (所定様式)

問い合わせ先

連合大会アウトリーチ係

E-mail

asnpsj.koukai@gmail.com

大会 HP

<https://www.kuba.co.jp/asnpsj2022/index.html>

【後援】 京都市教育委員会、京都府教育委員会、京都大学大学院理学研究科

【助成】 日本学術振興会 科学研究費補助金 研究成果公開促進費 (研究成果公開発表 (B))

1

人類学関連学会 5 学会合同公開シンポジウム

趣旨概要 ヒトの特質が、コロナ禍で揺らいでいます。各学会それぞれの立場からヒトの代表的特質だと思われる呼称を演題として講演していただき、人類学の統合を目指すべく総合的な視点から議論していきます。

プログラム (講演 25分、質疑 5分、総合討論 30分：合計 3時間)

学会名	講演者氏名	講演者所属	講演題目
日本民俗学会	真野 俊和	筑波大学大学院歴史人類学研究科	“民俗”に生かされるヒト、 “民俗”を生かすヒト：土着と前衛
日本文化人類学会	金子 守恵	京都大学大学院アジア・ アフリカ地域研究研究科	モノを作るヒト
日本生理人類学会	前田 享史	九州大学大学院芸術工学研究院	適応するヒト
日本人類学会	海部 陽介	東京大学総合研究博物館	移動するヒト
日本霊長類学会	中川 尚史	京都大学大学院理学研究科	寛容なヒト

2

日本人類学会・日本霊長類学会連合大会公開コロキウム

趣旨 人類学者(=ヒト屋)、霊長類学者(=サル屋)のうち高校生の皆さんとも年齢が比較的近く、それぞれの学問の次世代を担う若手研究者に、共通の話題でまず話をさせていただきます。その話題をもとに高校生の皆さんとの双方向の対話を行い、さらには自然とヒト屋とサル屋の対話が進むことも期待しています。

プログラム (話題提供 20分、グループ討論 30分、発表 10分×2、話題提供者回答 10分×2：合計約 2時間)

話題 1	提供者	話題 2	提供者
古代人の みえない食と、 チンパンジーの 赤ちゃんの みえづらい食	澤藤りかい (総合研究大学院大学)	混血がもたらした サルとヒトの多様性	渡部 裕介 (東京大学大学院理学系研究科)
	松本 卓也 (信州大学理学部)		伊藤 毅 (京都大学総合博物館)
グループ討論・発表		グループ討論・発表	
話題提供者回答		話題提供者回答	

3

中・高校生ポスター発表

趣旨 中学生・高校生の皆さんに研究者や学生との交流を通じて自然人類学や霊長類学に関心をもっていただくことを目的としています。研究対象が「ヒトを含む霊長類を中心とする動物一般」であれば、どのような分野の発表でも歓迎します。研究発表は審査対象となり、最優秀賞と優秀賞を授与します。

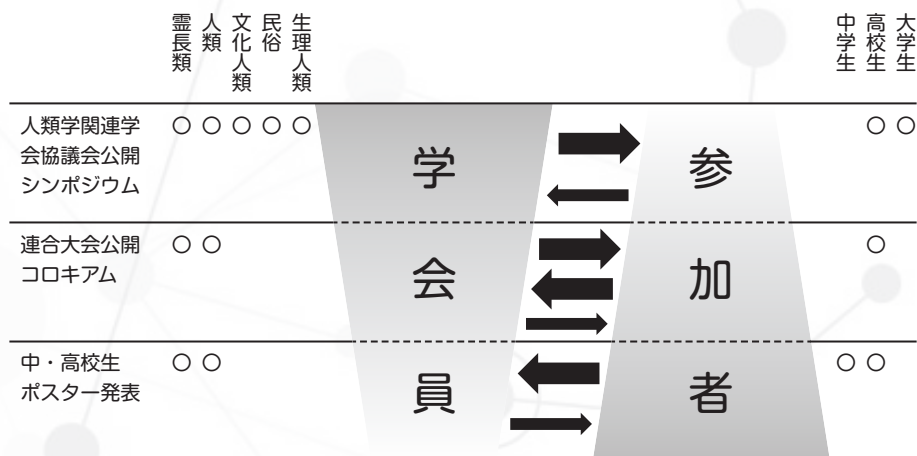


図. イベント毎の各学会の参加、ならびに学会員と中学生・高校生・大学学部生の相対寄与度、および働きかけの方向性